

平成 26 年度 JaLC 運営委員会（第 4 回）議事要旨

開催要旨

日 時 : 平成 27 年 2 月 16 日 (月) 15:00~17:00
場 所 : 独立行政法人科学技術振興機構 東京本部 2 階会議室 1
出 席 者 : (敬称略)
国立情報学研究所 武田英明 (委員長)
独立行政法人科学技術振興機構 水野充 (副委員長)
国立国会図書館 原田久義 (委員)
独立行政法人物質・材料研究機構 谷藤幹子 (委員)
科学技術振興機構 中島律子、加藤齊史、余頃祐介 (事務局)

- 議 事 概 要 :
1. JaLC 現況<報告>
 2. NDL が収集するオンライン資料への DOI 登録の扱い<審議>
 3. 研究データの DOI 登録用メタデータ項目の拡張<審議>
 4. CROSSREF METADATA SERVICES AFFILIATE LICENSE AGREEMENT の締結<審議>
 5. 平成 26 年度運営実績<審議>
 6. 平成 27 年度運営計画<審議>
 7. ジャパンリンクセンター正会員の退会<審議>
 8. その他

議事概要

1. 「JaLC 現況」について報告を行った。

【主な発言】

- ・ JaLC 正会員である医学中央雑誌刊行会へ、JaLC データをバルクで取得してもらうためのインターフェースの提供を開始する。JaLC に蓄積されたメタデータを OAI-PMH で提供する。
- ・ CrossRef がクエリによるメタデータ検索を一般に開放しており、JaLC もそれに追随しようとしている状況下、JaLC データのバルク取得は、JaLC への入会を検討している機関に対して、JaLC に正会員として入会するメリットとして提示できる。
- ・ JaLC 正会員はジャパンリンクセンター参加規約の定めにより JaLC データを取得できることになっている。取得した JaLC データをそのまま正会員のサービス等で公開してはならないが、取得した JaLC データを自身のもつ 2 次データと組み合わせて公開することは可能である。

2. 「NDL が収集するオンライン資料への DOI 登録の扱い」について審議を行った。

【主な発言】

- ・ 政府のオープンデータの議論でも DOI の話題が挙げられており、それに伴い NDL とのマルチプルレゾリューションをどうするか、今後考えることとする。
- ・ マルチプルレゾリューションを設定すると、当該 DOI が解決される際に中間ページが表示されるが、NDL 資料については館内閲覧のみである。ただし、納入者からのインターネット公開の許諾があれば、インターネットでも公開しており、このようなマルチプルレゾリューションは、ダークアーカイブとして実施するという新たなモデルと考えられる。
- ・ 商業出版社の場合、自機関の landing page に誘導したいため、マルチプルレゾリューションの許諾をしないことがあるかもしれないが、有償の資料をオンライン資料収集制度に基づき収集するのは時間がかかると思われる。
- ・ J-STAGE に入っていない学協会は、本来納入制度を意識しなければならない。このことも「対話・共創の場」で話すこととする。

【検討事項・宿題】

- ・ 既存の正会員に対して、e デポ制度を利用しているかどうかの確認を行う。また、JaLC 正会員参加登録依頼書および入会の手引きに「e デポにおいて資料を納入している場合」と追記する。（担当：事務局）

3. 「研究データの DOI 登録用メタデータ項目の拡張」について審議を行った。

【主な発言】

- ・ 日英併記型のニーズに対応するため JaLC のメタデータの設定思想を整理する。
- ・ JaLC 自身がオープンデータやオープンサイエンスの意識を持ってやっていることや言語の多様性を理解しているという JaLC のよさのアピールを検討する。

4. 「CROSSREF METADATA SERVICES AFFILIATE LICENSE AGREEMENT の締結」について審議を行った。

【主な発言】

- ・ 引用文献情報が、平文（メタデータ各項目に分解されていないテキスト文）でデポジットされているものが全体の 8 割以上あるため、JaLC が機械的な処理によりメタデータに分解している（平文解析）。
- ・ 引用文献のメタデータを用意するのは学会にとって負担かもしれないが、（引用文献に正しくリンク付けさせるためには）デポジットする機関が自らすべきことである。もし JaLC が今後も平文解析をやるならオプションサービスとして課金対象となりうる。
- ・ JaLC のデータを活用できるようになった機に、電子ジャーナルの役割について、次年度の「対話・共創の場」で日本の出版社や学会と一緒に考えることとする。

5. 「平成 26 年度運営実績（案）」について審議を行った。

【決定事項】

- ・ 了承された。

【検討事項・宿題】

- ・ この資料については JaLC サイトにて 4 月以降に掲載する。（担当：事務局）

6. 「平成 27 年度運営計画（案）」について

【検討事項・宿題】

- ・ 来年度初回の運営委員会において検討することとなった。

7. 「ジャパンリンクセンター正会員の退会」について審議を行った。

【決定事項】

- ・ ジャパンリンクセンター参加規約第 6 条 1 項 2 号および 3 号に基づき有限会社権歌書房の退会が決議された。

8. その他

【検討事項・宿題】

- ・ 外部から NDL に「JaLC とは何か」「研究データへの DOI 登録実験プロジェクトについて」等の問い合わせが増加することが見込まれることに対し、NDL と事務局で適宜分担し、資料を作成する。（担当：NDL、事務局）

－ 以 上 －